

「 美 術 II 」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	普通科 第 2 学年 1 ～ 4 組

1 学習の到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 美術 I での基礎を基に伝達のためのデザイン作品、絵画で水墨画、日本画作品、ビデオを参考にしてのデザイン作品、貝殻の精密デッサンをします。 2 表現する楽しさを味わい、完成に至るまでの経緯を大切にし、達成感を実感します。 3 各自の個性を大切にするとともに、人の作品を鑑賞し、美に客観的に向き合う気持ちを育成します。
使用教科書・副教材等	「高校美術 2」 (日本文教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考(学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)
第 1 学	伝達のためのデザイン 「愛鳥週間のポスターの制作」 ・ビデオ鑑賞 ・アイディアスケッチ ・パネルに水張り ・色彩計画 ・パネルに下描 ・着色、修正し完成	4	愛鳥週間のポスターの制作を通して伝達のためのデザインに必要な要素と各条件の下でデザインする意義を理解します。	ビデオ
		5	- 水貼りの方法も覚えます。 - 伝達のためのデザインにおいては伝達事項をいかに効果的に配置するかが問われます。そのためレタリングの良し悪しもポイントになります。レタリングは1年時の作品を参考にします。	1年次の作品の用意
		6	- ポスターカラーの塗り方、配色に留意します。 - 修正の重要性を理解し十分に修正し完成提出します。	

期		7	・提出期限を守るようにします。	
	【課題・提出物等】 1 授業で提出したスケッチブック 2 パネル仕立てのポスター作品			
	【第1学期の評価方法】 1 スケッチブックを通してポスター完成に至るまでの過程、板書事項を確認し授業に対する取り組み態度を評価します。提出された作品を見て総合的に判断します。 2 学期の評価は作品点で80%、学習活動への参加の状況や出席状況で20%の配分で行います。			

第 2 学 期	1 絵画（水墨画）	9	・ 水墨画の技法や表現を教科書や資料の鑑賞をとおして学びます。 ・ 花、鳥、風景等を手本をみて半紙に練習します。 ・ 各自テーマを設定し練習した技法で作品を制作します。	
	2 デザイン（色面構成） ビデオを使って	11	・ B3 パネルの中央に40×30cmの長方形を取り、その中を与えられた条件に沿って画面構成します。 ・ ビデオを見ながら、ポスターカラーの使い方を再確認します。	・ ビデオでの学習
		12	・ ビデオで条件の確認、よい作品にするための要素を学びます。 ・ パネルの水張の技法を再確認します。	
	【課題・提出物等】 1、2の授業での作品、スケッチブック			
【第2学期の評価方法】 1の水墨画の練習作品を通して技法を理解しているかを確認し、授業に対する取り組み方を評価します。1、2で提出された作品で総合的に判断します。 2学期全体の評価は作品点（スケッチブック、アートグラス）で80%、学習活動への参加の態度、				

	出席状況で20%の配分で行います。			
第3学期	1 2学期の色面構成の 継続	1	2学期、パネルに下描きで終了した作品に着色し修正した後、制作レポートをパネルの裏に貼付して提出します。 - 修正の重要性と制作レポートを書くことで客観的に自分の作品を見る姿勢を養成します。	・制作レポート
	2 絵画（貝殻の精密デッサンと色鉛筆による着色）	2	自分で選んだ一つの貝殻を4つの方向から精密デッサンします。	
	用紙：B4画用紙	3	時間があればその内の1つか2つに色鉛筆で着色します。	
学 期	【課題・提出物等】 1の色面構成によるデザイン作品、スケッチブック 2の絵画作品			
	【第3学期の評価方法】 1スケッチブックを通して色面構成作品が完成するまでの過程、授業に対する取り組みを判断します。 1（作品90%,制作レポート10%）と2で提出された作品を見て総合的に判断します。 2学期全体の評価は作品点90%、学習活動への参加の態度や出席の状況10%の配分で行います			
【年間の学習状況の評価方法】 下記の観点から評価した第1学期、第2学期および第3学期の成績を総合し年間の評価とします。				

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	美術Ⅱにおいて1年次の基礎の上により洗練された感覚がものを言ってくる。また、同時に常に新鮮で素直な気持ちも必要です。より幅の広い柔軟な物の見方、考え方は人間性を高めます。そして、何よりも主体的に望むことがより肝要になります。
授業を受けるに当た	まず、授業中は説明を静かに聞き、板書事項は確認し、プリントはよく読んでやり方を理解して下さい。そして、集中して授業時間内に制作が完了するようにしてください。

って守ってほしい事項	・ 提出物は期限厳守し、欠席等で作業が遅れた場合は放課後残って遅れを取り戻してください。
------------	--

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	・ 関心を持って授業に臨み、意欲的に学習活動に取り組んでいるか。 ・ 常に美を意識して表現し、完成に至る喜びを感受しているか。	・ 授業への参加状況や態度 ・ 提出作品やスケッチブックの内容
芸術的な感性 や表現の工夫	・ 身の回りの形や今までの体験からの感性、想像力が作品の中に美として反映しているか。 ・ 自己の表現したい物を的確に表現するために工夫しているか。	・ 授業での取り組み ・ 提出作品、スケッチブック
創造的な表現 の技能	・ 適切な用具や表現方法を選択し、創造的な表現のために効果的に活用できる技能を身につけているか。	・ 授業での取り組み ・ 提出作品
鑑賞の能力	・ 自分の作品を客観的に分析し、自己の考えを述べ、良い点、反省点を把握し次に生かせるようにできるか。 ・ ビデオを鑑賞し作品の中に反映できるか。	・ 鑑賞の態度 ・ 制作レポート

3 担当者からのメッセージ

・ 2年生になっても1年生のときの新鮮で素直な気持ちを維持してください。妥協しないで最後まで丁寧に手を抜かずやり抜く気持ちが大切です。 ・ 1年次に培った基本的な表現方法の上により主体的なものの見方、想像力、創造力を身につけてください。
